

# 停電時のご使用方法

## 浄水側止水栓の調節方法

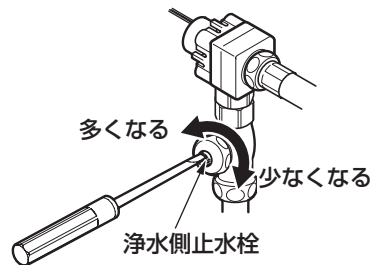
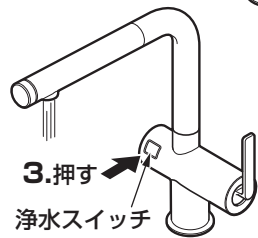
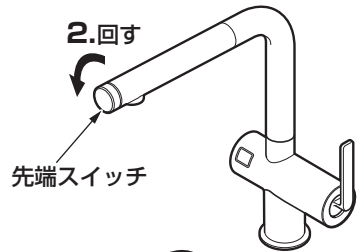
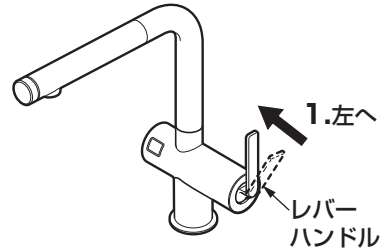
浄水は、レバーハンドル・浄水スイッチで流量の調節はできません。流量の調節は浄水側止水栓で行ってください。

### 浄水の流量調節

1. レバーハンドルを左に動かす。
2. 先端スイッチを左に回して一本吐水にする。
3. 浄水スイッチを押して水を出す。
4. 浄水吐水の流量が下記の流量程度になるように浄水側止水栓で調節する。

浄水の一本吐水の流量が2.5~3L/分（目盛りのついた計量カップなどで500mlが約10秒）になるように浄水側止水栓を調整する。

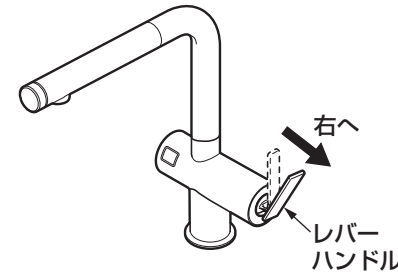
給水圧力が低い場合は、止水栓を全開にしても流量が2.5~3L/分にならないことがあります。



停電時は、浄水のご使用はできません。

また停電時は、先端スイッチの操作ができなくなります。お客様の使用状況により、水の出し止めの方法が異なります。

### 状態の確認



レバーハンドルを右へ動かし吐水の有無を確認する。

水栓の吐水口／シャワーより水が出ていますか？



水は出ていません

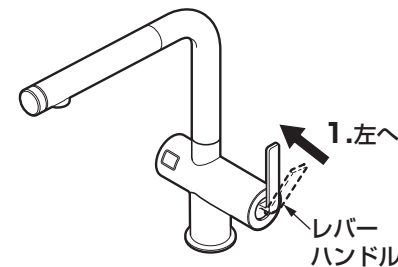
以下手順に進む

水は出ています

P.29に進む

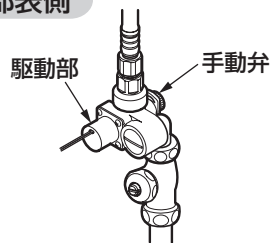
### 水が出ていない場合

停電が復旧するまでの応急処置として、シンクキャビネット内にある手動弁を手で開けることにより、レバーハンドルの操作で水の出し止めができます。

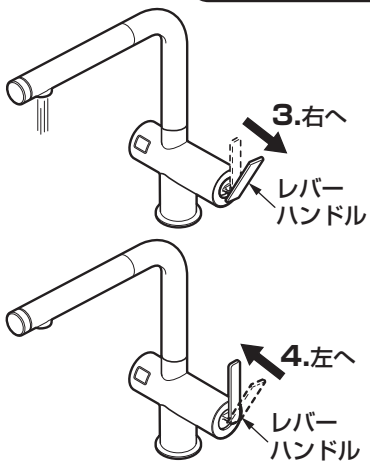
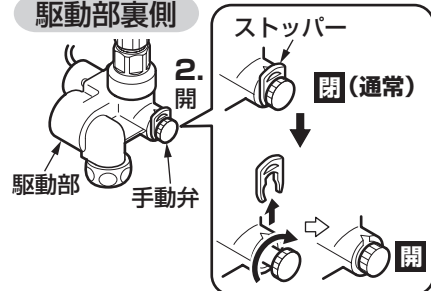


1. レバーハンドルを左へ動かす。

### 駆動部表側



### 駆動部裏側



## 2. ストッパーを外して、手動弁を右回りいっぱい回し、開状態にする。

手動弁は2カ所（湯側・水側）あります。

## 3. レバーハンドルを右に動かす。

水が出ます。

## 4. レバーハンドルを左に動かす。

水が止まります。

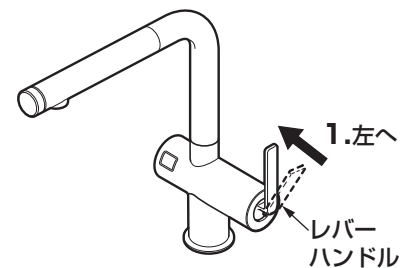
停電が復旧するまでは、レバーハンドルの操作(3.↔4.)で、水の出し止めを行います。

### 注意

- ※湯側の手動弁は熱くなっていることがありますので、操作する際は十分に注意してください。
- ※この手動弁は、非常時のみ開けてください。先端スイッチが正常に作動しているときは開けないでください。

### ◆停電復旧後

## 1. レバーハンドルを左に動かす。



## 2. 手動弁を左回りいっぱい回し、閉状態にして、ストッパーを取り付ける。

手動弁は2カ所（湯側・水側）あります。

### 注意

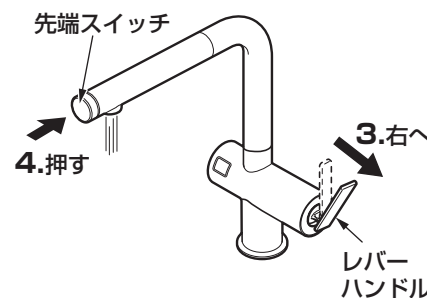
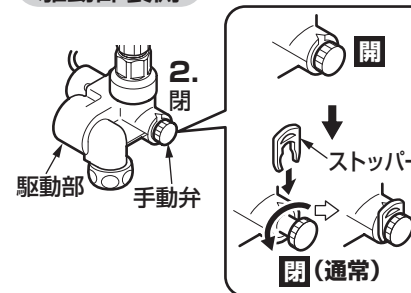
手動弁を閉め忘れると、駆動部が「開」の状態のため、先端スイッチで水を止めることができません。

## 3. レバーハンドルを右に動かす。

## 4. 先端スイッチを押す。

水が出ます。

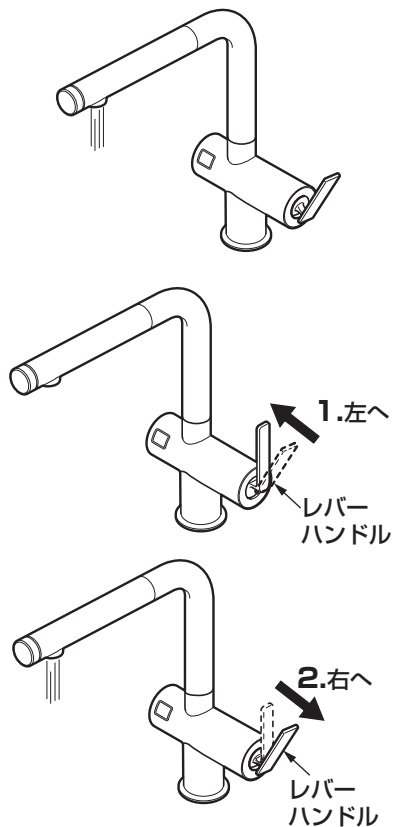
### 駆動部裏側



水が出ることを確認したあとは、通常どおり先端スイッチで、水を出し止めできるようになります。

## 水が出ている場合

レバーハンドルの操作で水の出し止めができます。



**1. レバーハンドルを左に動かす。**

水が止まります。

**2. レバーハンドルを右に動かす。**

水が出ます。

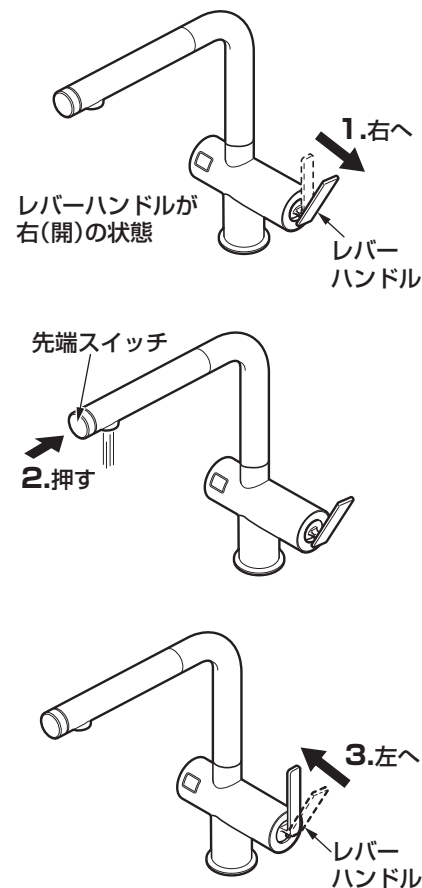
停電が復旧するまでは、レバーハンドルの操作(1. ↔ 2.)で、水の出し止めを行います。

### ◆停電復旧後は

いったん水が止まります。レバーハンドルを右に動かし、先端スイッチを操作することで通常どおり、先端スイッチで水の出し止めができるようになります。  
※浄水スイッチでの水の出し止めもできるようになります。

## 事前に停電時間がわかっている場合

停電時は、先端スイッチの操作ができなくなります。以下のご準備をすることで、停電中もレバーハンドルで水の出し止めができます。停電時は浄水のご使用はできません。



**1. レバーハンドルが右いっばいで全開になっていることを確認する。**

**2. 先端スイッチを押す。**  
水が出ます。

**3. レバーハンドルを左に動かす。**  
水が止まります。

### 準備のポイント

停電が復旧するまでは、必ずレバーハンドルの操作(1. ↔ 3.)で、水の出し止めを行ってください。

### ◆停電復旧後は

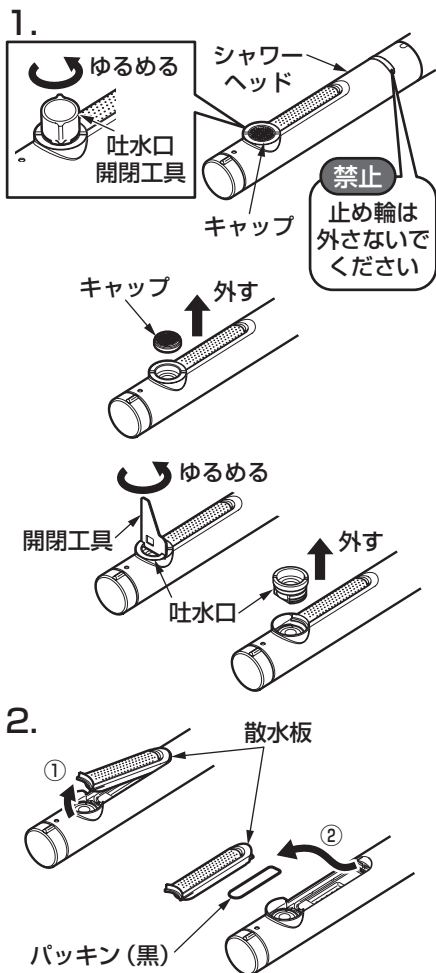
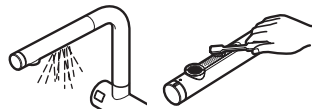
いったん水が止まります。レバーハンドルを右に動かし、先端スイッチを操作することで通常どおり、先端スイッチで水の出し止めができるようになります。  
※浄水スイッチでの水の出し止めもできるようになります。

# 日ごろのお手入れ

十分な機能を発揮させるため、また、美しく衛生的にご使用いただくために日ごろのお手入れをお願いいたします。

## 吐水口・散水板のお手入れ

※シャワーが乱れるときや吸気口などから水が漏れるときは、散水板表面のごみや吸気口の汚れを歯ブラシなどで取り除くと改善される場合があります。改善されない場合は、下記手順にてお手入れをお願いします。

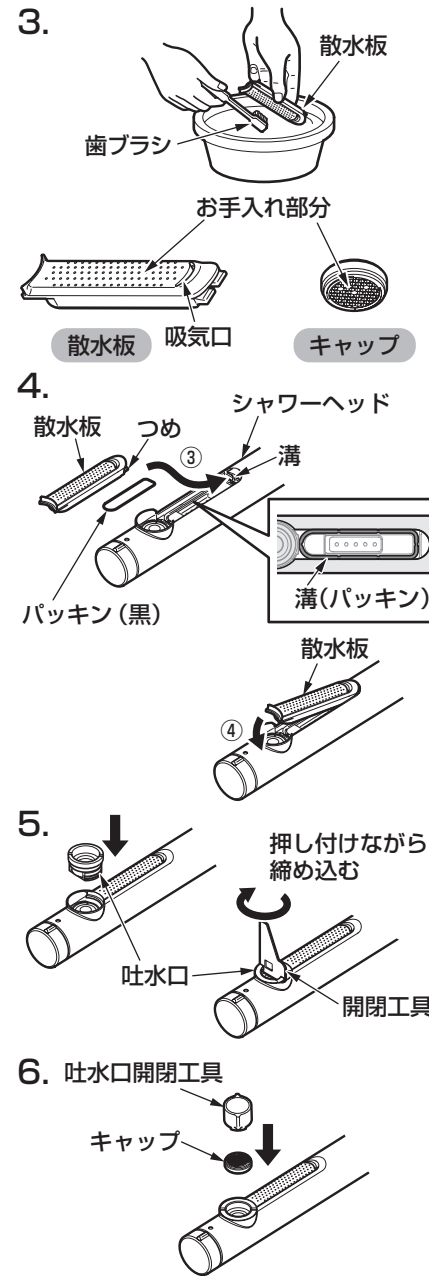


1. 同梱の筒状(黒)の吐水口開閉工具をキャップの溝に差し込み、矢印の方向に回して外す。吐水口の溝に板状の開閉工具(またはバターナイフなどの平板形状の物)を差し込み、矢印の方向に回して取り外す。

※散水板を傷つけないように注意してください。  
※取り外したキャップ・吐水口を紛失しないように注意してください。

2. 散水板を矢印①、②の順番で取り外す。

※散水板を外すとパッキン(黒)が一緒に外れることがあります。  
※取り外した散水板、パッキン(黒)を紛失しないように注意してください。



3. キャップ、散水板や吸気口に詰まったごみや汚れを清潔な歯ブラシなどで取り除く。

熱湯消毒した清潔な歯ブラシなどで行ってください。

お手入れの際にシャワーヘッドや水抜き穴に水をかけないでください。水が浸入することがあります。

4. パッキン(黒)をシャワーヘッドの溝にはめ込んで、散水板のつめをシャワーヘッドの溝に挿入して、しっかり差し込み、③、④の順番でシャワーヘッド側に押し付ける。

シャワーヘッドの散水板を上向きにしてパッキン(黒)が入っていることを確認して取り付けてください。パッキンの組み忘れや組み付け不良は、シャワーヘッド部や吸気口からの水漏れの原因となります。

5. 吐水口をシャワーヘッドに押し込み、ねじのかかりを確認して、板状の開閉工具(またはバターナイフなどの平板形状の物)で押し付けながら締め込む。

※ねじが斜めに入らないように注意してください。  
※散水板を傷つけないようにしてください。  
※締め込みがゆるいと水漏れの原因になります。

6. キャップを吐水口に吐水口開閉工具で取り付ける。

7. お手入れが完了したあとは、接続部から水漏れがないことを確認する。